

ミュージアムビジョン ～②めざす姿～

➤ 今後、ミュージアムとしてめざす姿と、その実現に向けての目標や取組みのイメージ。

めざす姿

都市のコアとしてのミュージアム

～大阪の知を拓き発信することで、人々が集い賑わう都市を実現し、大阪を担う市民とあゆむミュージアムへ～

① 大阪の知を拓く

- ・館相互や関連施設との連携・協働による資源の相互活用
- ・歴史的建築等を活用したユニークベニューの展開
- ・官民の特徴を活かした戦略的発信
- ・アーカイブ化による資料・情報の有効利用
- ・ICTの活用による魅力的な展示



② 大阪を元気に

- ・多言語対応による観光客の受け入れ体制の整備
- ・近隣資源の活用やイベント参加
- ・メディアと連携し大型企画展を誘致
- ・企業と協働したミュージアムグッズの開発や解説技術の開発、サービス施設の充実



③ 学びと活動の拠点へ

- ・実物と実体験を通じた「気づき」やアクティブラーニングの場を提供
- ・プロ輩出の契機となるような専門研究の支援
- ・市民参加の調査研究活動や、ボランティア・NPOによる参画機会の拡充



ビジョン実現に向けて ～基本要件～

➤ 大阪市ミュージアムビジョンの実現に向けた、経営形態見直しの方向性

1. 資料・人材の安定的確保と活用

- ・展覧会の企画・実現や調査研究など主要事業の継続性を担保するため、それを担う専門人材を安定的に確保する。
- ・信頼関係の継承と専門人材の確保で、館蔵品や寄託品を継承するとともに、新たな資料を獲得しその活用を図る。

2. 利用者目線のサービス

- ・資料の確保や展示環境の改善のため、戦略的投資を行い、その効果の最大化(好循環)をめざす。
- ・レストランやショップなどの運営にあたり、自主性を発揮し、民間等による柔軟な活用を可能にする。
- ・臨時の時間延長や各種イベントの開催など、自らの判断で、機動性を備えた柔軟なサービスを提供する。

3. 「経営」の実現

- ・経営と運営を一元化し、トップのマネジメントの下、中長期的な視点に立った事業展開をめざす。
- ・運営主体(現場)が機動力や自主性を発揮でき、職員意識の高揚が実現する体制をめざす。
- ・適切な計画や評価に基づく不断の業務改善が期待でき、適切な情報公開が行われる仕組みを導入する。

【方向性】

1. 事業における**継続性**や**専門人材**の安定的確保ができ、**戦略的投資**ができること。
2. 事業の効果的实施に必要な、**機動性**、**柔軟性**、**自主性**が確保・発揮できること。
3. 経営と運営の**一元化**が図れ、**中長期的視点**を備えた事業展開ができる体制であること。
4. トップの**マネジメント**の下、**職員意識の高揚**や**業務改善**が図られる体制であること。

継続性と機動性・柔軟性・自主性を備えた**地方独立行政法人**による**経営と運営の一元化**へ

期待される効果 ～①独法制度の活用～

項 目		内 容	期待される効果
① 事業魅力の向上	専門人材の確保	現行:市派遣、法人固有・契約 →一元化(法人固有)	・法人の裁量で学芸員を安定的に確保し、業務における継続性や信頼関係を維持することで、優れた展覧会の企画・開催や新規資料の獲得を実現 ・適材適所の効率的な人材配置や成果に応じた処遇も可能
	基本サービス	現行:条例・規則で規定 →おもに法人裁量(※)による	・臨時の開館や時間延長、年間パスや近隣施設と連携した割引券の発行など、利用者ニーズに応える柔軟な運営が実現
② 法人の裁量によるサービスの向上	付帯サービス	現行:目的外使用許可(単年度) →法人裁量による長期貸借等	・レストランやショップの長期契約に基づく事業者による施設改修や独立採算での運営、新規メニュー・グッズの開発
	施設の活用	現行:条例・規則による許可と料金 →おもに法人裁量(※)による	・駐車場や貸室等における周辺事情を考慮した柔軟な料金・時間の設定、予約方法の見直し、ユニークベニューや民間活用が可能
③ 制度の特性を活かした業務改善	資金活用	現行:申請計画に沿った委託料 →使途の定めのない運営費交付金	・資金の融通で事業の展開状況に即した臨機の投入が実現 ・剰余金は法人が収受し、年度を超えて有効活用が可能
	事務手続き	現行:市に準拠 →法人規定による	・事業特性に配慮した規定を整備することで、事務手続きの簡素化・スピードアップを実現
	点検・評価	現行:自主努力や設置者しだい →法定、外部による評価	・点検評価や結果の公開が法定されており、業務改善(PDCAサイクルの確立)が確実

①展覧会等事業の充実



②サービス向上



③業務改善



【都市大阪】

大阪の発信による集客や
経済効果の創出で
都市格の向上に寄与

【館や法人】 サービス向上による利用者増と経営改善

(※)ただし、料金の上限は議会の議決を経て設立団体の長が定める

期待される効果 ～②一体経営の効果～

これまでの実践例も含めて

連携や合同企画の実現

共通テーマによる合同企画展の開催



(例) 歴博・自然史等による
合同企画「大川の自然と文化」

調整や相互補完

美術館で、中国陶磁の展覧会を開催したり、東洋陶磁の拓本資料を保管



コレクション展

東南アジアの
やきもの
バンチェンから
ホイアンカーゴまで
2015/02/21(土)～
2015/03/22(日)
大阪市立美術館

先行実績の活用

先行館での地域やNPOとの連携実績に学んだり、合同事業を展開



総合的な事業展開

専門館が集まっての連続講座の開催や、学校向け副読本の刊行



知識・技術の共有

文化財研究所や歴博での保存科学等の技術・実績を他館でも活用



活動範囲の拡大

複数館に跨る友の会やボランティア制度の創設



期待される効果 ～②一体経営の効果～

これまでの実践例も含めて

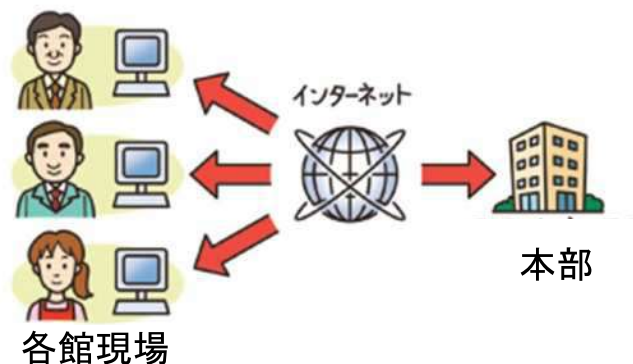
ガバナンスの強化

理事長のマネジメントの下、各館の機能とサービスを向上



事務の効率化

ITを使った共通事務の集約・効率化



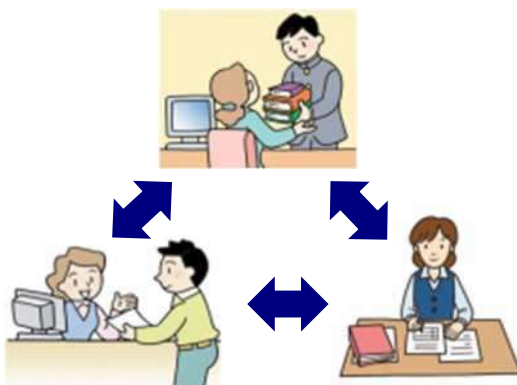
施設の有効利用

利便性や設備を考慮して、事業に最適の施設を有効利用



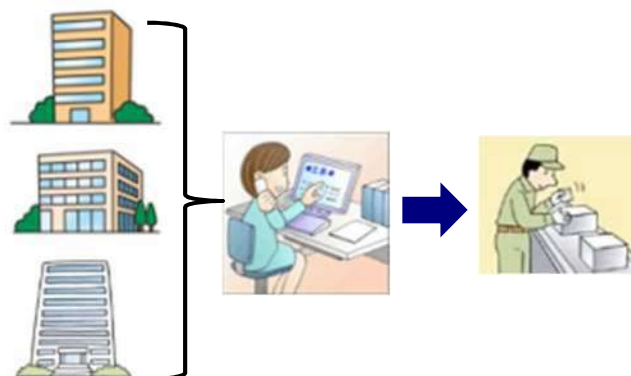
個性を活かしたサービス

同一業務でも館毎に独自サービスを展開し互いに切磋琢磨



一括契約・購入

一括による経費縮減効果を引き出す



共用人材の登用

民間エキスパートの登用による企画、デザイン、広報力等の向上

